



市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。 ㊟秘書課 ☎ 36-7117

今月のテーマ 「おび通り」を都市公園に！賑わい創出の場をつくる

島田市の中心市街地は、区画整理により道路や公園などの基盤整備が進みましたが、「おび通り」ではイベント開催時以外の賑わい創出が課題でした。この大きな理由は、「おび通り」が市道認定された道路であり、フリーマーケットひとつ開催するにも、出店する皆さんが、それぞれ道路使用許可申請書を提出しなければならないという手間のかかる手続きがあったからです。



「おび通り」で行われる元気市

この「おび通り」に賑わいを創出するにはどうしたらよいか、私の長い間の懸案事項でした。考えた末の結論は、用途指定を見直すこと。静岡市の「青葉イベント広場」のように利活用できれば、交流人口が増え市内外の皆さんに活発な活動をしていただける場所になるのではないかとアイデアが浮かびました。しかし、道路は繋がっていてこそ道路であり、一部分だけを市道認定から外すことは道路法上難しいのが実情でした。

その打開策が、市道認定はそのままにして新たに都市公園として二重指定し、道路と公園の両方の機能を有する場所にすることでした。すでに市民の皆さんの活動実績がある中、賑わいを創出できるポテンシャルが高い場所として警察のご理解をいただき、関係機関との協議を進め「おび通り」という公共空間を生かす環境が整いま

した。12月中には、区域内のさらなる安全確保のために、5カ所で車止め設置工事を行います。

今後は、公園を管理する市への簡単な申請だけでフリーマーケットや骨董市、マルシェやワークショップなどが開催できるようになります。現在、定期的に催しができるよう商工課の職員が中心となり、関係者の皆さんと調整をしています。毎週末、「おび通り」に行けば何か楽しいことをやっている…、そんなワクワクできる公共空間に育てていければと考えています。

市では、必要なハード整備と利活用に関する規制などのハードルを低くすることにより、利用する皆さんの活動が活発になるお手伝いをしていきます。これにより、まちなかに人通りを増やし、周辺の空き店舗の利活用などを促進し、おび通り周辺を軸とした新たな賑わい創出を図っていきます。

また、「おび通り」だけでなく、「駅前緑地」を中心として始まった市民活動「シマダ駅前 サンカク公園プロジェクト」についても、積極的に支援していきたいと考えています。「おび通り」や「駅前緑地」をもっと楽しく、もっと身近な場所に、そして、駅から市街地への人の流れを創ることを目指してまいります。



「駅前緑地」で行われたワークショップ

「広報ひみ」から

姉妹都市である富山県氷見市から寄せられたイベント情報などをご紹介します。

氷見の冬の旬といえば、日本一のブランドとも称されている「氷見のブリ」。本格的なシーズンを迎え、氷見漁港は活気づいています。この季節、富山湾を南下してくる脂が乗ったブリのおいしさは格別です。年明けからは、市内の宿泊施設や飲食店で多彩な料理をご堪能いただける「ひみぶりフェア（平成 29 年 1 月上旬～2 月下旬）」が開催されます。ぜひ、この機会に氷見へお越しください。問い合わせ／（一社）氷見市観光協会 ☎ 0766-74-5250

姉妹都市からお越しになり、氷見市内で宿泊された先着 500 人の皆さんに、氷見の特産品をプレゼントしています。進呈場所／氷見市観光情報センター（ひみ番屋街内）☎ 0766-74-3521 持ち物／宿泊したことが分かる領収書と住所の分かるもの

